

大体大浪商高等学校の学校評価（第三者評価）

日 時：平成29年 10月3日 13時30分～14時30分

平成29年 10月5日 13時30分～14時30分

出席者：大阪体育大学 スポーツ教育学科長 浅井正仁

大阪体育大学浪商中学・高校 保護者会顧問 中井剛弘

大体大浪商高校 校長 清水俊彦

大体大浪商高校 教頭 工藤哲士

大体大浪商中学 教頭 垣野 健一

大体大浪商中学校 高等学校 事務長 寺西 正和

大体大浪商高校 主幹教諭 福光聖美

1. 学校評価及び学校診断結果の報告について

平成27年度、28年度の「取り組み内容とその達成状況」及び「学校診断 今後の活用について」の資料に基づき学校評価についての詳細な説明が行われた。

2. 第三者評価について（学校関係者評価を中心に）

1) 大体大浪商高校の目指す学校像（ミッション）については、「中長期目標」となる、①建学の精神、②生徒 一人ひとりの夢を...、③南大阪を代表する...、④浪商ブランドの確立、等の目標を教職員が共有することで、具体的な「重点目標」を設定できているものと評価される。

2) 重点目標の設定においては、進学とスポーツを2本柱として浪商ブランドを確立させる基礎として、①学習活動の充実、②部活動成果の発揮、を第一に挙げている。次に、生徒の希望進路実現のために、③進学指導マネジメントシステムの構築、④進学実績の成果向上、⑤中高一貫体制の確立を重点目標に設定している。また、生徒一人ひとりに豊かな心をみにつけさせるために、⑥規律・規範の確立と自主性の伸長、⑦人権教育・安全教育の充実などを挙げ、中長期目標に沿った具体的な重点目標並びにそれらへの取り組みが示されていると評価できよう。

3) 重点目標の達成状況及び今後の課題と取り組みについては、①学習活動の充実～⑦人権教育・安全教育の充実の7項目毎に学校関係者評価（5段階評価）が示されている。下記に、各重点目標の達成状況等と学校関係者評価を総括し、改善点等を指摘した。

<①学習活動の充実>

「各コースの目標進路実現まで引き上げることはできていない<C>」、「進学総合 S、進学スポーツコースにおいては、有名私大文系を受験できるように指導したが、生徒らの意識がまだ低い」、「コースによっては読書の習慣づけ（朝読）の定着が図れなかった<D>」、など学校関係者評価がやや低く、H29年度の今後の課題と取り組みの中で十分に認識された対応策を指摘されている。読書の習慣づけについては、図書館利用の啓発や図書館サービスの充実なども検討項目としてはどうか。

<②部活動の成果>

強化クラブ実績や学外クラブ実績においては、学校関係者評価が A 評価のクラブが多く、充実したクラブ活動を実践できているようである。一方、文化クラブでは少人数での地道な活動を継続しているが、部員獲得には至っていないことから C 評価となっている。今後、更なる充実に向けてグラウンドを人工芝にする等の対策が必要という意見も出された。

<③進学マネジメント>、<④進学実績>

上記項目においては、その具体的取り組み内容を概ね A 評価としている。

<⑤中高一貫体制の確立>

上記項目においては、現中学 2 年生から本格的に取り組まれた内容であり、中高一貫体制での協力体制の調整や中高教員一体の教科会議を実施するなど運営上の工夫がみられた。H30 年度入学の中高一貫 1 期生の受け入れの準備を進めている上での課題も指摘されている。高校の魅力がアップすれば、中学入学者も増加するのではないかという意見もあった。

<⑥規律規範の確立・自主性の伸長>

規範意識の向上については、全校集会、学年集会、担任指導、クラブ顧問指導を通じて指導されているが、コースにより課題も違うので各コースに対応した指導の仕方を工夫する必要性が指摘されている<C>。H29 年度の課題として、各コースの特性や課題等を把握するために、生徒の意識調査を分析してコースにあった指導方法を構築することを指摘し、次年度の具体的取り組みを準備している。

また、「生徒会活動については、自主的に取り組ませるためには、顧問団の人数や役割を考えると困難である<D>」と学校関係者評価では、全くできていないとの評価であった。教員数の不足や校務分掌の不備等も考えられるので、学校経営に関わる問題かもしれない。

<⑦人権教育・安全教育>

上記項目の人権学習について<A>、安全教育について<A>、支援を要する生徒<A>などの取り組み内容は概ね A 評価としている。しかし、問題発生時の対応については<D>評価であり、学校関係者評価では、全くできていないとの評価であった。危機管理体制のシステムの構築と再確認が必要かと思われる。

以上、貴校の学校評価への取り組みは、中長期目標を明確にしてその目標を共有できるような重点目標を設定して、具体的な取り組みが明確にされている。また、それらの重点目標の達成状況を学校関係者によって自己評価され、次年度に向けた課題と具体的な取り組みについても明確に指摘されていると評価できる。よって、貴校の学校評価への取り組みは妥当であり、的確なものであると評価できる。

3. 第三者評価について（保護者、生徒、教職員からのアンケート結果を中心に）

保護者アンケート項目(17項目)、生徒アンケート項目(31項目)、教職員アンケート項目(22項目)の質問項目に対する肯定的回答率(以下、肯定率)は、学校満足度、学校運営の適切性、授業充実度、各種活動の有用性、学習活動への積極性などにおいて望ましい傾向を示す指標となるものと判断される。そこで、第三者評価においては極端に低い肯定率を示した質問項目を取り上げ、保護者、生徒、教職員のアンケート回答の肯定率を比較検討し、それに加えてアンケート質問項目の適切性について評価することとした。

1) 学習活動についての質問項目

学習活動に関する質問項目で、保護者アンケート質問11:「学習時間(肯定率:49%)」が最も低く、コース別比較では、I、IIh(59%)>アスh(58%)>進学総h(46%)>進学Sh(36%)の順に低い数値を示している。最も生徒数の多い進学総合コースと勉学とスポーツの両立がテーマである進学スポーツコースの家庭内学習時間を増やすための方策を多方面(生徒、保護者、コース指導)から検討する必要があるのかもしれない。

学習活動に関する質問項目で、生徒アンケート質問5:「生徒の意見を聞いて授業を工夫している先生が多い(肯定率:54%)」と教職員アンケート質問5:「教員は生徒の意見や感想をよく聞いて授業を工夫している(肯定率:80%(H28)、70%(H27)、86%(H26))」において生徒側の肯定率と教員側のそれとにややギャップがある。

質問5以外に、生徒アンケートでは質問23:「毎日の学習に取り組む(肯定率:65%)」、質問24:「日々の学習が役立つ(肯定率:66%)」、質問25:「宿題、課題、提出物(肯定率:81%)」など生徒の学習態度、学習理解度、学習活動の振り返りを回答させる質問が用意されているが、教職員アンケートにおいては同様の質問項目は見られない。生徒の学習活動の状況やそれと関係する教員の指導状況などを双方向から評価できるような質問項目の精選も必要ではないかと思われる。

2) 学校行事についての質問項目

学校行事としての文化祭や体育祭に関する質問で、生徒アンケート質問 14：「文化祭や体育祭などの学校行事に生徒自ら積極的に参加している（肯定率：76%）」、教職員アンケート質問 20：「本校では体育祭、文化祭などの学校行事が活発だ（肯定率：39%）」の双方の肯定率にやや開きがみられる。生徒側と教職員側の認識の違いには様々な理由が考えられ、必ずしも一致することが望ましいとも言えないが、少なくとも質問内容の不備を指摘することはできる。生徒側には「...生徒自ら積極的に参加しているか」を質問しているが、教職員側には「...学校行事が活発であるか」を質問している。また、質問内容を「文化祭」と「体育祭」に分けて質問するほうが各行事への積極的参加の程度をより正確に把握できると思われる。さらには、これらの学校行事をすることによって、学校行事の目的とするところの「望ましい人間関係の形成」や「集団への所属感や連帯感を深める」ことなどがどの程度達成できているかを質問して回答傾向を分析することで、学校行事の意義を再確認できるのではないかと思われる。

3) 生徒会活動についての質問項目

生徒会活動に関する質問で、生徒アンケート質問 11：「生徒会活動を通じて自分たちの意見が取り入れられ学校生活が改善されている（肯定率：48%）」、教職員アンケート質問 15：「本校では生徒会活動を通じて生徒が主体的に活動できるよう支援している（肯定率：44%(H28)、30%(H27)、36%(H26)）」の双方の肯定率は共に 50%以下の数値を示している。学校関係者評価でも、「生徒会活動については、自主的に取り組ませるためには、顧問団の人数や役割を考えると困難である<D>」と評価され、生徒会活動の健全な運営はできていないと判断されよう。前述の第三者評価でも指摘したように、教員数の不足や校務分掌の不備等も考えられるので、学校経営に関わる問題かもしれない。

以上、貴校の学校診断アンケートの質問内容、分析結果の検討方法、分析結果の各担当部署での利用方策等を確認いたしました。学校評価システムを構築する上において、生徒、保護者、教職員を対象とした学校診断アンケートは、重点目標の達成状況の把握とその検証、学校運営の健全化にとって妥当で的確な方法であると評価できる。